

令和4年度第1回自治体等FM連絡会議多摩地域会の開催報告

多摩地域会代表幹事 府中市総務管理部建築施設課

公共施設マネジメント担当 風間 貴之

開催日時 令和4年8月16日（火） 午後2時から午後4時まで

会場 武蔵野プレイス 4階 フォーラム （東京都武蔵野市境南町2丁目3番18号）

参加者数 48人

内容報告

1 講演「学校施設の再編・活用推進に向けた取組」

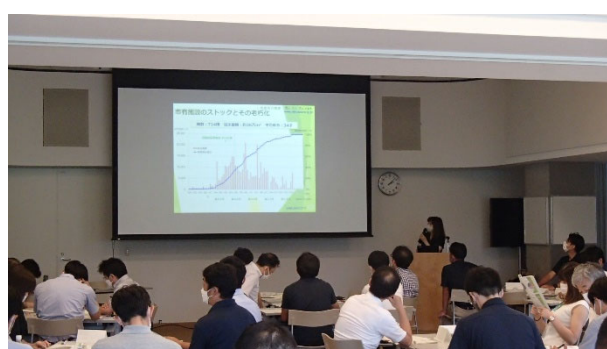
講師 佐倉市資産経営部資産経営課 橋本 直子 氏

佐倉市資産経営部資産経営課 橋本 直子氏から、先進事例として佐倉市の学校施設に係る取組についてご講義いただきました。

講演内容は大きく2点ありましたが、1点目として、小学校の統廃合について話がありました。こちらは、結果としては失敗事例とのことでしたが、合意形成に向けたスケジュールや、どのようなことに注意して進めたかなど、具体的なお話がありました。また、事例を通して、公共施設の総量縮減に向けた考え方についてもお話がありました。実際に経験をした上での考えなので、大変参考になりました。

次に、2点目として学校プールに関するお話をいただきました。こちらの事例は全国的にも有名なものですが、直接お話を聞くことで、より深いイメージを持つことができました。お話の中で、教育委員会や学校現場の意見など、様々なところで調整が必要となり、配慮しなければならないことも多くあったとのことでした。実際に現場に足を運び、現状を把握した上で、現場の声を聴き取ることの重要性を改めて認識しました。

公共施設マネジメントの取組、特に再編等に係る取組については、利用者の声なども大きくなるため、慎重に進めなければなりません。また、どのような取組にも必ずメリット・デメリットがあり、それをどのように関係者に伝え、調整していくかが重要になるため、今回の講演の様に、実際の事例について経験者から話を聞くことは、今後取り組んでいくに当たり非常に有益であると感じました。



2 意見交換会

後半は、5～6人程度のグループに分かれて意見交換会を行いました。参加者は公共施設マネジメント担当以外にも、講演の趣旨から、教育委員会関連の所属の方も多くいたため、具体的なトークテーマは設けず、各市の現状を共有した上で話を進める形式をとりました。

約3年ぶりの対面での開催であったこともあり、各市とも担当が大きく変わっており、互いの状況を知らない状態での意見交換だったので、ざくばらんに話をできる形式にしたことで活発な議論が生まれていました。また、盛んに名刺交換が行われるなど、コロナ禍をはさんで、改めて自治体間の交流の場としても活用できたと思います。



3 その他

終了後のアンケートでは、橋本氏の講演について、学校に関する取組を検討している自治体が多かったようで、先行事例について直接話を聞いて良かったという意見を多くいただきました。

また、意見交換会については、互いの自治体の状況について情報交換できて良かったという意見が多く、対面形式ならではのコミュニケーションが取れて有意義な時間となりました。

今回、多摩地域会は約3年ぶりの会場での開催でしたが、やはり直接コミュニケーションが取れることで交流が広がるなど、今後も自治体間で顔を合わせる場は必要だと改めて感じました。新型コロナの感染者数が多い時期の開催だったので、急遽の欠席もあり、今後はオンラインとの併用など、開催手法については時代の流れに合わせてさらに工夫していきたいと思います。

今後も、FMの取組を進める各団体の活発な連携や情報共有の助けとなるよう、引き続き多摩地域会を開催したいと考えております。みなさまのご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。